



▼ 青函カップ ～25時間の攻防～

7月13日10時にスタートした第26回青函カップヨットレース、リコール旗が揚がり波乱を予感させるスタートとなった。

2回目のロールコールの時点では全艇まだ団子状態トップ艇が苦労している事をまだ知らずに薄ら笑いを浮かべていた。

数時間後それは突然やって来た、どうもがいても大間の灯りが近づいてくる。艇速と潮が相殺され踏ん張るが4時間後は佐井沖まで戻されている始末。毎度のことではあるが今回は特別津軽海峡までが遠く感じた。

上位常連のオーシャンボーイがリタイア!!クルーが顔を見合わせる。

14日未明には何とか津軽海峡らしき海域に・・・波もなく穏やかな中に潮の音が不気味に響く、夜が明けてくると徐々にレースの中で自艇がおかれている立場が見えてくると共に風のながれも見えてきた。

麻里子の風に救われ海峡を疾走その後も優子の風、往年のルリ子の風が次々と現れては我々を後押ししてくれた、極めつけは今回引退を発表した敦子の風最後の力を振り絞り見事タイムリミット前に我が艇を湾内に導いてくれたのだ。

(ここに出てきた〇〇の風とは、オーバーナイトにおける徹夜ぼけとも言われる”High”な状態でクルーの一人がつい口走った一言に全乗員が食い付きフィニッシュまで延々と論議が交わされたのであった。)

我が艇が函館にフィニッシュしたのはスタートから24時間と22分後のことであった。

▼ 夏の宴

8月1日花火大会BBQで一杯

8月3日ポンツーンまつりマグロ解体ショーで一杯

8月4日市民ヨット試乗会終了後BBQほか前日の余りで一杯

1日こそ顔を出さなかったが、3・4日とノンアルコールで参加させて頂きましたが、参加されている顔ぶれを見れば、多分3日間とも同じ参加者であろう事が予想される。

夏の夜には欠かせない”生ビール”と旨い肴。

外帆には迷シェフが数人居て、いつもおいしい満足のいく食事を与えてくれる。

これは協会にとって生ビールに匹敵するほど大変貴重な”宝”です。

まだまだ夏は続くぞ～、各自体調を考えて夏の宴を楽しんでください。

沖縄から函館へ ヨット<マイウェイ>の航海

Vol 8

7月2日(土) 曇り時々晴れ 九十九湾

昼前、七尾市の野桑氏とお嬢さん、札幌の葛巻氏<ワンピース>が来訪。野桑氏は西岸(にしぎし)ヨットクラブの会長さん。クラブにも寄ってと言ってくれる。葛巻氏はエンジントラブルのため西岸に長逗留。2008年札幌で行った私達の講演会にも来てくれていたという。こうなれば西岸にも寄りたくなるのは当然である。夕方、素潜りでボトムの点検。<ファーストウェーブ>は「あばれ祭り」を見るため宇出津(うし

つ) 港へ。我々二人と2匹だけの静かな夜になった。

7月3日(日) 曇り時々霧

九十九湾→穴水マリーナ

5:00起床。朝食はお茶漬け。穴水マリーナへ向かう。北の風1~2メートル、波なし。出港後薄い霧が出てくる。視程1.5マイル。レーダー使用。穴水湾入り口付近の定置網を推測でかわし湾に入る。このころより霧が晴れる。9:30マリーナに到着。仲野氏の友人中山氏が出迎えてくれる。一休みした後穴水市街のホームセンターとスーパーを回る。帰り、中山宅でソーメンとコーヒーをごちそうになる。中山家にはうち猫、そと猫合わせて10数匹。ネコ大好きご夫婦なのだ。夜、ハーバーオフィス前の軒下で<マイウェイ>主催の焼肉。中山夫妻とハーバースターの牛上氏を招く。途中から強い雨。

7月4日(月) 雨 穴水マリーナ

嵐だ。時々激しい雨が降る。こんな中、中山氏が「家で、コーヒーでも」とわざわざ迎えに来てくれる。中山氏は金沢で放送関係の仕事をしていたが数年前にリタイアし、ここに移り住んだという。夜、バウデッキをノラネコちゃんが散歩。

今日は私達の長女文の誕生日だ。何もできないが、お祝いのメールだけ送る。あんな小さかった文ももう男の子二人のお母さんである。

7月5日(火) 曇り

穴水マリーナ→西岸ヨットクラブ

目が覚めると雨も風もおさまっている。これなら出港できそうだ。中山夫妻が手作りのお弁当を差し入れながら見送りに来てくださった。今日の行程は西岸まで約5マイル。ブームカバーもとらず正真正銘の機走である。葛巻氏<ワンピース>が途中まで迎えに来てくれる。到着した泊地は私設のポンツーンと思えないほどの立派な出来ばえである。野桑氏、田崎氏が迎えてくれ、早速温泉へ。非公式の温泉だが非常に快適だ。そういえば函館の某所にも同じような秘湯があったことを思いだした。あれもいい風呂だった。

7月7日(木) 曇り後雨 西岸ヨットクラブ

エンジンオイルを交換する。天候が良ければ明日出港の予定。葛巻氏と我々でお礼の意味を込め、さよなら一杯飲み会をセット。とにかくなんやかんやと理由をつけて飲んでいるのだ。飲んでいる最中、雨が強く降ってきた。七夕だということになってことだ。明日の出港は微妙になってきた。

7月8日(金) 曇り後晴れ

西岸ヨットクラブ→狼煙港(狼煙地区)

5時に目をさますと雨はあがっている。出港できそうな海象である。清水を補給しクラブハウスでコーヒーをよばれ、<ワンピース>、続いて<マイウェイ>がポンツーンを離れる。お世話になりました。弱い風ながら帆走可能だ。湾口で<ワンピース>が定置網とニアミス。私達が先導し事なきを得たが、こんな時シングルハンドは大変だと思う。その後風速が10メー